



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 朝日放送グループホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9405 URL https://corp.asahi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)沖中 進
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)山本 憲治 (TEL)06(6458)5321
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	61,388	0.5	2,477	△14.8	2,711	△15.4	1,779	△38.5
2019年3月期第3四半期	61,058	0.4	2,907	3.8	3,204	4.0	2,895	54.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,155百万円(△24.4%) 2019年3月期第3四半期 2,851百万円(△6.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	43.46	—
2019年3月期第3四半期	70.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	115,685	70,402	57.4
2019年3月期	107,788	67,049	60.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 66,445百万円 2019年3月期 65,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2020年3月期	—	9.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	2.5	3,000	△29.6	3,200	△30.3	2,500	△33.2	61.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社 (社名)株式会社ディー・エル・イー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	41,833,000株	2019年3月期	41,833,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	850,078株	2019年3月期	936,032株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	40,948,099株	2019年3月期3Q	40,872,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)の日本経済は、雇用情勢こそ堅調なもの、企業収益は一部に陰りが見え、景気の減速感も漂い始めました。また海外経済は米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題に加え、中国での新型肺炎の発生もあり、不透明感が増すばかりです。

このような経済状況の中、当社グループが主力事業を展開する放送事業の売上高は、テレビスポット収入が減少したものの、テレビネット収入やローカル収入等が増加した結果、増収となりました。ハウジング事業の売上高は、不動産販売収入の減少等により、減収となりました。ゴルフ事業の売上高は、登録料収入の増加等により、増収となりました。以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は613億8千8百万円となり、前年同期に比べて3億3千万円(0.5%)の増収となりました。一方、費用面では売上原価が407億4千5百万円で、前年同期に比べて4億8百万円(1.0%)増加しました。販売費及び一般管理費については181億6千5百万円となり、3億5千1百万円(2.0%)増加しました。この結果、営業利益は24億7千7百万円となり、4億2千9百万円(△14.8%)の減益、経常利益は27億1千1百万円で4億9千2百万円(△15.4%)の減益となりました。また、投資有価証券売却により7億4千7百万円を特別利益に、ハウジング事業における会場閉鎖損失等により7億1千2百万円を特別損失に計上しました。以上の結果、税金等調整前四半期純利益は27億4千6百万円で4億3千万円(△13.6%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は17億7千9百万円となり、前年同期の会社分割による税効果会計の影響等もあり11億1千5百万円(△38.5%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、以下のとおりです。

[放送事業]

放送事業の売上高は522億4千7百万円となり、前年同期に比べ17億1千9百万円(3.4%)の増収となりました。全国ネット番組の好調によるテレビネット収入の増収が主な要因です。一方、営業費用は、番組費やネットワーク費等の増加により、4.0%増加しました。この結果、営業利益は18億4千7百万円となり、3億1千万円(△14.4%)の減益となりました。

[ハウジング事業]

ハウジング事業の売上高は83億6千万円となり、前年同期に比べ14億5千万円(△14.8%)の減収となりました。前期は3件の不動産販売がありましたが、当期はなかったことによります。一方、営業費用は、前期の不動産販売による原価計上の反動減が主な要因で、14.8%減少しました。この結果、営業利益は7億5千3百万円となり、前年同期に比べて1億2千2百万円(△14.0%)の減益となりました。

[ゴルフ事業]

ゴルフ事業の売上高は7億8千万円となり、前年同期に比べ6千1百万円(8.6%)の増収となりました。新規会員募集に伴う登録料収入の増加が主な要因です。一方、営業費用は、販売費や労務費の増加により、1.5%増加しました。この結果、営業利益は1億1千3百万円となり、前年同期に比べて5千3百万円(90.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べて78億9千6百万円増加し、1,156億8千5百万円となりました。社債の発行に伴って、現金及び預金が増加したこと等によるものです。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて45億4千4百万円増加し、452億円8千2百万円となりました。社債の発行や借入金が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて33億5千2百万円増加し、704億2百万円となりました。第1四半期連結会計期間より株式会社ディー・エル・イーおよび株式会社マッシュを新規連結したことによる非支配株主持分の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は前年同期に比べて増収となりましたが、テレビスポット市況の悪化傾向が続いていること等により、通期連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益を下方修正いたします。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては前回発表予想のとおりとしております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,337	24,713
受取手形及び売掛金	13,550	13,032
有価証券	200	204
たな卸資産	5,114	5,452
未収還付法人税等	312	184
その他	2,345	1,971
貸倒引当金	△9	△14
流動資産合計	37,852	45,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,721	18,934
土地	10,769	10,769
その他（純額）	7,346	7,250
有形固定資産合計	37,837	36,955
無形固定資産		
ソフトウェア	1,167	1,243
ソフトウェア仮勘定	105	120
のれん	-	355
その他	109	121
無形固定資産合計	1,381	1,840
投資その他の資産		
投資有価証券	18,406	19,137
その他	12,320	12,217
貸倒引当金	△10	△35
投資その他の資産合計	30,716	31,319
固定資産合計	69,935	70,114
繰延資産		
社債発行費	-	25
繰延資産合計	-	25
資産合計	107,788	115,685

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	-	600
1年内返済予定の長期借入金	240	543
1年内償還予定の社債	-	26
未払金	6,475	6,393
未払法人税等	934	338
引当金	113	312
その他	5,365	4,334
流動負債合計	13,129	12,548
固定負債		
長期借入金	740	893
社債	-	5,068
退職給付に係る負債	17,092	16,390
その他	9,777	10,381
固定負債合計	27,609	32,734
負債合計	40,738	45,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	5,775	5,843
利益剰余金	53,241	53,916
自己株式	△470	△426
株主資本合計	63,846	64,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,018	3,292
退職給付に係る調整累計額	△1,641	△1,480
その他の包括利益累計額合計	1,377	1,812
新株予約権	-	0
非支配株主持分	1,826	3,956
純資産合計	67,049	70,402
負債純資産合計	107,788	115,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	61,058	61,388
売上原価	40,337	40,745
売上総利益	20,720	20,642
販売費及び一般管理費	17,813	18,165
営業利益	2,907	2,477
営業外収益		
受取利息	27	15
受取配当金	227	218
その他	75	96
営業外収益合計	330	331
営業外費用		
支払利息	6	15
固定資産処分損	18	8
匿名組合投資損失	-	64
その他	7	9
営業外費用合計	33	97
経常利益	3,204	2,711
特別利益		
固定資産売却益	52	-
投資有価証券売却益	23	747
特別利益合計	76	747
特別損失		
会場閉鎖損失	-	631
特別退職金	103	80
特別損失合計	103	712
税金等調整前四半期純利益	3,177	2,746
法人税等	241	1,026
四半期純利益	2,935	1,720
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	40	△59
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,895	1,779

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	2,935	1,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△483	274
退職給付に係る調整額	399	160
その他の包括利益合計	△84	435
四半期包括利益	2,851	2,155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,810	2,214
非支配株主に係る四半期包括利益	40	△58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	50,528	9,811	718	61,058	—	61,058
セグメント間の 内部売上高又は振替高	478	15	54	548	△548	—
計	51,006	9,826	772	61,606	△548	61,058
セグメント利益	2,158	876	59	3,094	△186	2,907

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△548百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益の調整額△186百万円は、報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1、2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	放送事業	ハウジング 事業	ゴルフ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,247	8,360	780	61,388	—	61,388
セグメント間の 内部売上高又は振替高	425	14	57	497	△497	—
計	52,673	8,375	837	61,886	△497	61,388
セグメント利益	1,847	753	113	2,714	△236	2,477

(注) 1 セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△497百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

2 セグメント利益の調整額△236百万円は、報告セグメントに帰属しない新規の事業・市場開拓等にかかる費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。